

学校教育目標

自ら学ぶ子 学び合う子

子どもたちが「自分らしい生き方」を具現化し、「在りたい自分」「在りたい未来」を創造できるように寄り添った支援をする。「自ら学ぶ子」は、「3つの『や』」(「やってみよう」「やり直そう」「やり続けよう」)を心の真ん中において主体的に行動する子どもを育てる。また、「学び合う子」は、「互いに声を聴き合い、つながりを感じながら学び合う子ども」を育てる。その土台として「やり抜く力」「自制心」「協働性」の向上を図るとともに「褒めて」「認めて」「一緒に喜ぶ」関わりを通して、子どもたちが自分のよさに気づき、友だちのよさを認め、学校と地域を大切に思う日高っ子の育成をめざす。

◇めざす児童像 互いに声を聴き合い、つながりを感じながら学び合う子

- ・めあてをもって自ら学び、豊かに表現する子（知）
- ・思いやりがあり、ともに支え合う子（徳）
- ・心と体をきたえる子（体）

◇めざす学校像 一人一人の学びが大切にされ、笑顔あふれる学校

- ・一人一人の学びが大切にされ、自分らしく安心して過ごせる居場所としての学校
- ・互いに声を聴き合い、つながりを感じながら学び合い、成長を実感できる学校
- ・保護者、地域から信頼・期待され、地域とともにある学校

◇めざす教職員像 互いに声を聴き合い、学び続ける教職員

- ・互いに声を聴き合い、つながりを感じながら学び合う授業づくりを実践する教職員
- ・「褒めて」「認めて」「一緒に喜ぶ」かわりを通して、子どもとともに歩む教職員
- ・主体性、協働性を備え、学び続ける教職員

実践キーワード

やってみよう やり直そう やり続けよう
聴き合う つなぐ 学び合う

< 実践項目 >

○「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成

- ・魅力ある授業づくりを目指す校内研修の充実（5つの徹底継続実践事項の質的向上）
- ・ICTの利便性と危険性とを理解し日常的に活用する学習の充実
- ・SDGsの目標を意識し地域の特性を生かした学習素材の活用
- ・他者や自己との「対話」により生き方についての考えを深める道徳教育の充実
- ・多様な価値観や今日的な人権課題に対応した人権教育の推進
- ・内面的理解に基づく生徒指導体制の構築と一貫性のある指導の充実
- ・児童一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実…縦の連携・横の連携
- ・非認知能力向上の視点（やり抜く力、自制心、協働性）をいかした特別活動の推進
- ・自分らしく安心して過ごせる居場所、一人一人の個性をいかす居場所の充実
- ・「登校対応の重層的支援構造」を意識した、不登校未然防止の取組の充実
- ・豊かな人間性や学びに向かう力を育み、自主的・自発的に繋げる読書活動の推進
- ・主体的に体力向上を図る態度を育成する体育授業の充実と生活習慣の向上に向けた食育・眠育の推進

○連携・一貫教育の推進

- ・ふるさと教育、コミュニケーション教育、英語教育をいかした情報発信の充実
- ・保幼小連携、小中一貫教育における確実な情報共有と園児、児童、生徒理解の充実

○家庭、地域に開かれた安全で特色ある学校づくり

- ・危機管理意識の向上と組織的・実践的な対応の充実
- ・地域とのつながりを大切にし、地域とともにある学校づくりの推進
- ・参観日やオープンスクール、各種通信、ホームページ等による積極的な情報発信
- ・ワーク・ライフ・バランスを意識し、健康に配慮した校内体制の構築